

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（設定日：2016年10月12日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のさまざまな資産に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ■日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド ■日本国債 ■ヘッジ付き外国債券パッジ・マザーファンド ■為替ヘッジ付き先進国債券（除く日本）／為替ヘッジあり ■国内株式インデックス・マザーファンド（B号） ■国内株式 ■外国株式インデックス・マザーファンド ■先進国株式（除く日本）／為替ヘッジなし ■エマージング株式インデックス・マザーファンド ■新興国株式／為替ヘッジなし ■バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF ■新興国株式／為替ヘッジなし ■Jリート・インデックス・マザーファンド ■国内リート ■外国リート・インデックス・マザーファンド ■外国リート／為替ヘッジなし ■外国債券パッジ・マザーファンド ■先進国債券（除く日本）／為替ヘッジなし ■バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF ■新興国債券／為替ヘッジなし ■シェアーズJ.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF ■新興国債券／為替ヘッジなし
当ファンドの運用方法	■日本を含む世界のさまざまな資産に投資し、値下がりするリスクを抑えつつ、安定的なリターンを目指します。 ■各資産の組入比率は柔軟に調整します。 ■先進国の債券は、部分的に円での為替ヘッジを行います。
組入制限	■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年4月26日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

# イオン・バランス戦略 ファンド

【愛称：みらいパレット】  
【運用報告書（全体版）】

（2024年4月27日から2025年4月28日まで）

第 9 期

決算日 2025年4月28日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のさまざまな資産に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			株式組入率	株式先物率 (買建-売建)	公 社 債 債 組入比率	投 資 信 託 証 券 組 入 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	込 金	期 騰 落 率					
5 期(2021年 4 月26日)	円 10,191	円 0	% 3.3	% 16.6	% 0.9	% 56.9	% 16.4	% 2,730	百万円
6 期(2022年 4 月26日)	9,760	0	△4.2	—	—	92.0	—	—	2,766
7 期(2023年 4 月26日)	9,077	0	△7.0	17.7	1.0	48.3	20.9	2,870	
8 期(2024年 4 月26日)	9,128	0	0.6	23.5	0.5	43.4	16.7	2,993	
9 期(2025年 4 月28日)	8,780	0	△3.8	7.4	0.2	61.5	8.0	2,968	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率 (買建-売建)	公 社 債 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 率
		騰 落 率	比				
(期 首) 2024年 4 月26日	円 9,128	% —	% 23.5	% 0.5	% 43.4	% 16.7	
4 月末	9,217	1.0	23.8	0.5	43.4	16.7	
5 月末	9,189	0.7	16.2	1.1	49.2	17.2	
6 月末	9,304	1.9	8.6	0.3	62.1	8.3	
7 月末	9,256	1.4	—	—	67.5	—	
8 月末	9,328	2.2	—	—	71.1	—	
9 月末	9,364	2.6	—	—	77.5	—	
10月末	9,231	1.1	—	—	78.5	—	
11月末	9,200	0.8	10.9	0.2	63.2	2.1	
12月末	9,191	0.7	11.7	0.4	66.5	4.0	
2025年 1 月末	9,158	0.3	22.9	0.6	50.4	8.4	
2 月末	9,033	△1.0	22.0	0.8	53.5	8.4	
3 月末	8,956	△1.9	15.0	0.5	52.7	18.0	
(期 末) 2025年 4 月28日	8,780	△3.8	7.4	0.2	61.5	8.0	

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	9,128円
期 末	8,780円 (既払分配金0円(税引前))
騰 落 率	−3.8% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のさまざまな資産に投資しました。なお、先進国の債券は、部分的に対円での為替ヘッジを行いました。

#### 上昇要因

- 主要国の先進国債券の長期金利が低下した局面があったこと

#### 下落要因

- 日銀の金融政策により、国内金利が上昇(債券価格は下落)したこと
- 日銀の追加利上げやトランプ政権の関税政策に対する不透明感の高まりなどから、為替が米ドル安・円高となったこと

投資環境について(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

先進国株式市場は上昇した一方で、国内株式市場は前期末と比較して概ね横ばいとなりました。債券市場では、日本の長期金利(10年国債利回り)が上昇した一方で、欧米の長期金利は総じて低下しました。新興国は株式市場・債券市場ともに上昇しました。国内リート市場は下落した一方で、外国リート市場は上昇しました。米ドルやユーロは円に対して下落しました。

## 国内株式

国内株式市場は、前期末と比較して概ね横ばいとなりました。

期初より、米ドル高・円安の進行や米国株高を背景に、上昇基調で推移しました。7月に日経平均株価は過去最高値をつけた後、8月は歴史的な乱高下を記録しました。10月以降は、一進一退の展開が続きました。FOMC(米連邦公開市場委員会)での利下げペース鈍化示唆などが株価の上値を抑える一方、円安進行や中国の景気対策期待などが市場を下支えしました。期末にかけて、米政権の相互関税政策による世界経済への悪影響が懸念され、世界同時株安となりました。その後、関税懸念が和らぎ株価は反発しました。

## 国内債券

日本の長期金利は、上昇しました。

期初より、先行きの利上げへの警戒が高

まり、日銀による国債買い入れの減額方針の決定も受けて、金利は上昇しました。日銀はさらに7月末に、追加利上げを実施しました。8月には、リスクオフ(リスク回避)の動きから円高・株安となり、金利は急低下しました。10月以降は、米国金利の上昇や、日銀総裁によるタカ派(インフレ抑制を重視する立場)発言、好調な経済指標などを背景に、金利は大幅に上昇しました。期末には、米政権の関税政策への不透明感や米景気の下振れ懸念などから、金利はやや低下しました。

## 国内リート

国内リート市場は、下落しました。

期初より、日本の長期金利の上昇や需給悪化懸念を背景に、下落基調となりました。8月は、株高や日米長期金利の低下などから一時反発しましたが、年末にかけて日銀の利上げ観測などを背景に、再び下落基調が続きました。期末にかけて、好悪材料が

交錯する中、国内リート市場は乱高下しました。日本の長期金利の上昇が下落要因となる一方、日本株の上昇が上昇要因となりました。

### 先進国株式

先進国株式市場は、上昇しました。

米国株式市場は上昇しました。期初より7月にかけて、堅調な経済指標やF R B (米連邦準備制度理事会)の利下げ期待から上昇しました。8月には一時的に下落しましたが、9月の大幅利下げ実施などを好感し、上昇基調となりました。期末にかけては、米国の関税政策の実施により、株価は下落しましたが、トランプ大統領が「相互関税」の上乗せ分を一時停止すると発表し、再び上昇に転じました。

欧州株式市場は、上昇しました。期初より一進一退の展開となりましたが、2025年1月から2月にかけて、ドイツの財政出動への期待が高まり、株価は大幅に上昇しました。期末には、米国の関税政策の実施などの影響を受けて大きく下落する場面もありましたが、その後に、米関税措置の一時停止が発表され、株価は反発しました。

### 先進国債券

米国の長期金利は、低下しました。

期初から9月にかけては、F R B の利下

げ実施により金利は低下しました。その後、1月にかけて米政権の政策によるインフレ再燃への懸念から、金利は上昇に転じました。期末にかけては、関税政策を巡る景気減速懸念が高まり、金利は低下しました。

欧州(ドイツ)の長期金利は、小幅に低下しました。ユーロ圏の長期金利は、期半ばまで米金利に概ね連動する動きとなりました。期末にかけては、ウクライナ情勢による防衛費増加やインフラ整備などの財政支出増加が意識され、ユーロ圏の金利が大幅に上昇しましたが、その後、米関税政策を巡る不確実性により欧州景気後退リスクへの懸念が高まり、期を通じて見ると金利は小幅に低下しました。

### 外国リート

外国リート市場は、上昇しました。

期初から9月にかけては、米国の利下げ転換による米景気に対するソフトランディング(軟着陸)期待が高まり、グローバルリート市場は上昇する展開となりました。その後、インフレ再燃懸念に対する米金利上昇が悪材料となり、下落しました。期末にかけては、米関税政策による世界経済への悪影響が懸念されて大きく下落しましたが、トランプ大統領が「相互関税」の上乗せ分を一時停止すると発表し、再び上昇しました。

## 新興国株式

新興国株式市場は、上昇しました。

期初から10月にかけて、米国の利下げや中国政府の景気刺激策への期待などから、大きく上昇しました。その後、中国景気にに対する不透明感の高まりや、米国の長期金利の上昇などを嫌気し、1月にかけて下落基調となりました。その後は、米関税政策による世界経済への悪影響を懸念する見方が強まり、新興国株式市場は大きく下落しました。期末にかけて、米関税一時停止の発表などからリスク資産回帰の動きとなり、上昇に転じました。

## 新興国債券

新興国債券市場は、上昇しました。

期初から9月にかけて米国の大利下げ実施などから米国金利が低下し、新興国債券市場は上昇しました。その後は、米関税政策への懸念などがあったものの、総じて一定の範囲内で上下する動きとなりました。

## 為替市場

### ●米ドル・円

米ドル・円は、米ドル安・円高となりました。

期初には、日米の金利差が意識され、円安基調で推移しました。7月から9月にか

けては、日米金利差縮小との見方が強まり、米ドル安・円高が進行しました。その後は、米金利の上昇などから米ドル高・円安傾向となりましたが、期末にかけては、日銀の追加利上げや米政権の関税政策に対する不透明感の高まりなどから、米ドル安・円高となりました。

### ●ユーロ・円

ユーロ・円は、ユーロ安・円高となりました。

期初には、日欧の金利差が意識され、円安基調で推移しました。7月以降、日銀の利上げに ECB (欧州中央銀行) の利下げも加わり、9月にかけて急速にユーロ安・円高が進みました。その後は、期末にかけて一進一退となり、期を通じて見るとユーロ安・円高となりました。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### ポートフォリオについて(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のさまざまな資産に投資しました。なお先進国の債券は、部分的に対円での為替ヘッジを行いました。

#### ●運用経過

資産配分方針の変更時期については以下の通りです。

期初から上昇基調の株式市場を受けて、リスク態度指数が上昇したため、市場がリスクオン(リスク選好)局面にあるとの判断から、リスク資産40%、安定資産60%の資産配分としました。

その後、6月には、EU(欧州連合)内の政治的不安が高まったため、欧州株が下落したこと、主要国の長期金利の高止まりからREIT(不動産投資信託)のリターンがさえないことから、リスク態度指数は下落しました。

そのため、市場がリスクオフ局面へ移行しつつあるとの判断から、リスク資産20%、

安定資産80%の資産配分とし、7月には、市場がリスクオフ局面となったと判断し、安定資産100%の資産配分へ変更しました。

11月には米大統領選挙にトランプ氏が当選すると、新政権による経済政策への期待感から株式市場が上昇し、リスク態度指数も上昇に転じるとその後も堅調に推移しました。

そのため、市場がリスクオン局面へ移行しているとの判断から資産配分をリスク資産20%、安定資産80%へ変更し、2025年1月にはリスク資産40%、安定資産60%と段階的に変更しました。

4月にはトランプ大統領による、厳しい内容の相互関税を受けて株式市場が大きく下落すると、リスク態度指数が急落しました。これを見て、再度リスクオフ局面へ移行しつつあるとの判断から、資産配分をリスク資産20%、安定資産80%へ変更し、期末を迎えました。

### ベンチマークとの差異について(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第9期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	694

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## ② 今後の運用方針

投資信託証券等への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

市場のリスク選好状況を判断する上で使

用するリスク態度指数は、足元にかけては、

トランプ大統領が相互関税実施の先延ばし

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

などが実施され、米国の貿易摩擦への懸念が後退するとリスク態度指数が反発しました。

そのため、しばらくは移行局面としてリ

スク資産20%、安定資産80%を維持する予

定です。

## ③ お知らせ

## 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2025年4月1日)

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### 1万口当たりの費用明細(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	89円	0.973%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,185円です。
(投信会社)	(46)	(0.498)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(41)	(0.442)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.010	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(0)	(0.001)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(1)	(0.008)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.035	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(保管費用)	(3)	(0.030)	
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他の)	(0)	(0.001)	その他の:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	94	1.019	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)

### ② 投資先ファンドの費用 0.01 %

運用管理費用以外  
- %  
運用管理費用  
0.01 %

### ① 当ファンドの費用 1.00 %

その他費用  
0.03 %  
運用管理費用  
(受託会社) 0.03 %  
運用管理費用  
(投信会社) 0.50 %  
運用管理費用  
(販売会社) 0.44 %

総経費率  
1.01 %

### 総経費率(① + ②)

1.01 %

#### ① 当ファンドの費用の比率

1.00 %

#### 投資先ファンドの運用管理費用の比率

0.01 %

#### ② 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率

- %

※①の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※②の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※①と②の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.01%です。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2024年4月27日から2025年4月28日まで)

#### (1) 投資信託証券

			買付		売付	
			口数	買付額	口数	売付額
外 国	ア メ リ カ	iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建て エマージング・マーケット債券ETF	8,178	千アメリカ・ドル 739	26,191	千アメリカ・ドル 2,328

※金額は受渡し代金。

#### (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
国内株式インデックス・マザーファンド (B号)	千口 78,987	千円 391,000	千口 122,668	千円 585,147
外国株式インデックス・マザーファンド	69,755	691,000	102,324	949,900
ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンド	838,394	1,020,000	580,693	700,000
外国債券パッシブ・マザーファンド	210,779	490,000	159,128	368,533
Jリート・インデックス・マザーファンド	96,290	245,000	75,505	189,792
外国リート・インデックス・マザーファンド	52,579	192,000	72,570	248,713
エマージング株式インデックス・マザーファンド	197,299	429,000	199,980	426,450
日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド	925,944	1,016,800	624,480	680,800

### ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年4月27日から2025年4月28日まで)

項目	期		
	国内株式インデックス・マザーファンド (B号)	外国株式インデックス・マザーファンド	エマージング株式インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	57,316,198千円	141,144,207千円	11,121,773千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	343,217,039千円	842,426,207千円	42,981,587千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.16	0.16	0.25

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2024年4月27日から2025年4月28日まで)

#### (1) 利害関係人との取引状況

##### イオン・バランス戦略ファンド

当期中における利害関係人との取引等はありません。

##### 日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 29,346	百万円 1,076	% 3.7	百万円 28,812	百万円 2,145	% 7.4

※平均保有割合 14.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

##### 国内株式インデックス・マザーファンド (B号)

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 45,856	百万円 10,480	% 22.9	百万円 11,459	百万円 3,743	% 32.7

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

##### Jリート・インデックス・マザーファンド

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 7,816	百万円 571	% 7.3	百万円 2,950	百万円 847	% 28.7

※平均保有割合 0.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

##### ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンド

##### 外国株式インデックス・マザーファンド

##### エマージング株式インデックス・マザーファンド

##### 外国リート・インデックス・マザーファンド

##### 外国債券パッシブ・マザーファンド

当期中における利害関係人との取引等はありません。

#### (2) 利害関係人の発行する有価証券等

##### 国内株式インデックス・マザーファンド (B号)

種類	買付額	売付額	期末保有額
株式	百万円 580	百万円 161	百万円 6,384

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

(3) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券  
Jリート・インデックス・マザーファンド

種類	買付額
投資信託証券	百万円
	68

(4) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率  
イオン・バランス戦略ファンド

項目	当期
(a) 売買委託手数料総額	305千円
(b) うち利害関係人への支払額	1千円
(c) (b) / (a)	0.4%

※売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C 日興証券株式会社、株式会社三井住友フィナンシャルグループです。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年4月27日から2025年4月28日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2025年4月28日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期末			
	口数	口数	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率
(アメリカ) i シェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券E T F	口 22,367	口 4,354	千円 393	千円 56,532	千円 56,532	% 1.9
合計	22,367	4,354	393	56,532	56,532	1.9

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
国内株式インデックス・マザーファンド（B号）	千口 62,614	千口 18,933	千円 91,636
外国株式インデックス・マザーファンド	42,243	9,674	87,240
ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンド	724,323	982,023	1,188,739
外国債券パッシブ・マザーファンド	—	51,651	117,444
Jリート・インデックス・マザーファンド	24,425	45,210	118,552
外国リート・インデックス・マザーファンド	37,142	17,151	56,842
エマージング株式インデックス・マザーファンド	30,517	27,835	57,375
日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド	787,724	1,089,188	1,163,689

※各親投資信託の期末の受益権総口数は以下の通りです。

国内株式インデックス・マザーファンド（B号）	74,232,450,496口	外国株式インデックス・マザーファンド	96,858,470,640口
ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンド	31,080,036,211口	外国債券パッシブ・マザーファンド	83,034,721,577口
Jリート・インデックス・マザーファンド	7,488,952,955口	外国リート・インデックス・マザーファンド	12,840,825,021口
エマージング株式インデックス・マザーファンド	26,403,604,277口	日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド	7,527,534,961口

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### ■投資信託財産の構成

(2025年4月28日現在)

項 目	期 評 価 額	末 比 率
	千円	%
投 資 証 券	56,532	1.9
国内株式インデックス・マザーファンド（B号）	91,636	3.1
Jリート・インデックス・マザーファンド	118,552	4.0
日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド	1,163,689	38.9
外国株式インデックス・マザーファンド	87,240	2.9
外国リート・インデックス・マザーファンド	56,842	1.9
エマージング株式インデックス・マザーファンド	57,375	1.9
ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンド	1,188,739	39.8
外国債券パッシブ・マザーファンド	117,444	3.9
コール・ローン等、その他	52,153	1.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,990,206	100.0

※外国株式インデックス・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（873,068,014千円）の投資信託財産総額（874,042,739千円）に対する比率は99.9%です。

※ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（36,817,213千円）の投資信託財産総額（37,828,693千円）に対する比率は97.3%です。

※外国債券パッシブ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（188,351,483千円）の投資信託財産総額（189,041,193千円）に対する比率は99.6%です。

※外国リート・インデックス・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（42,534,275千円）の投資信託財産総額（42,558,048千円）に対する比率は99.9%です。

※エマージング株式インデックス・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（54,438,656千円）の投資信託財産総額（54,675,043千円）に対する比率は99.6%です。

※期末における外貨建資産（63,773千円）の投資信託財産総額（2,990,206千円）に対する比率は2.1%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.66円、1カナダ・ドル=103.52円、1オーストラリア・ドル=91.76円、1香港・ドル=18.52円、1シンガポール・ドル=109.22円、1ニュージーランド・ドル=85.51円、1台湾・ドル=4.415円、1イギリス・ポンド=191.02円、1エジプト・ポンド=2.803円、1イスラエル・シユケル=39.68円、1イスイス・フラン=173.52円、1トルコ・リラ=3.749円、1デンマーク・クローネ=21.86円、1ノルウェー・クローネ=13.75円、1スウェーデン・クローネ=14.84円、1メキシコ・ペソ=7.355円、1フィリピン・ペソ=2.553円、100チリ・ペソ=15.361円、100コロンビア・ペソ=3.403円、1インド・ルピー=1.69円、100インドネシア・ルピア=0.86円、1ブラジル・レアル=25.24円、1チェコ・コルナ=6.54円、100韓国・ウォン=10.01円、1オフショア・人民元=19.694円、1マレーシア・リンギット=32.816円、1南アフリカ・ランド=7.69円、1タイ・バーツ=4.26円、1ポーランド・ズロチ=38.18円、100ハンガリー・フォリント=40.00円、1ユーロ=163.14円です。

# イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年4月28日現在)

項目	期末
(A) 資産	2,990,206,437円
コール・ローン等	46,153,357
投資証券(評価額)	56,532,296
国内株式インデックス・マザーファンド(B号)(評価額)	91,636,527
リート・インデックス・マザーファンド(評価額)	118,552,119
日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド(評価額)	1,163,689,495
外国株式インデックス・マザーファンド(評価額)	87,240,474
外国リート・インデックス・マザーファンド(評価額)	56,842,772
エマージング株式インデックス・マザーファンド(評価額)	57,375,008
ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンド(評価額)	1,188,739,848
外国債券パッシブ・マザーファンド(評価額)	117,444,541
未収入金	6,000,000
未払債	22,052,399
未払解約金	7,086,784
未払信託報酬	14,889,566
その他未払費用	76,049
(C) 純資産総額(A-B)	2,968,154,038
元本	3,380,466,001
次期繰越損益金	△ 412,311,963
(D) 受益権総口数	3,380,466,001口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,780円

※当期における期首元本額3,279,505,758円、期中追加設定元本額470,065,732円、期中一部解約元本額369,105,489円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2024年4月27日 至2025年4月28日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4,865,499円
受取配当金	4,601,022
受取利息	264,477
(B) 有価証券売買損益	△ 94,954,238
売買益	61,033,791
売買損	△155,988,029
(C) 信託報酬等	△ 30,030,306
(D) 当期損益金(A+B+C)	△120,119,045
(E) 前期繰越損益金	△208,643,399
(F) 追加信託差損益金	△ 83,549,519
(配当等相当額)	( 121,267,583)
(売買損益相当額)	(△204,817,102)
(G) 合計(D+E+F)	△412,311,963
次期繰越損益金(G)	△412,311,963
追加信託差損益金	△ 83,549,519
(配当等相当額)	( 121,778,753)
(売買損益相当額)	(△205,328,272)
分配準備積立金	112,878,461
繰越損益金	△441,640,905

※有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	28,408,172円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	121,778,753
(d) 分配準備積立金	84,470,289
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	234,657,214
1万口当たり当期分配対象額	694.16
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

### 組入れ投資信託証券の内容（直近決算の情報）

ファンド名	日本国債ダイナミック・アロケーション・マザーファンド
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として日本の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。</li> <li>■長期金利の低下（あるいは横ばい）が予想される局面では積極的に金利リスクを取得し、長期金利の上昇が予想される局面では機動的に金利リスクの圧縮を図ります。</li> <li>■長期金利の局面判定には、運用会社独自のクオンツ手法を用います。</li> </ul>
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.06%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

### ■ 1万口当たりの費用明細

（2024年3月12日から2025年3月10日まで）

項目	金額
その他費用	0円
（その他）	(0)
合計	0

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 損益の状況

（自2024年3月12日 至2025年3月10日）

項目	当期
(A) 配当等収益	49,126,396円
受取利息	49,137,873
支払利息	△ 11,477
(B) 有価証券売買損益	△420,972,958
売買益	40,865,200
売買損	△461,838,158
(C) その他費用等	△ 2,464
(D) 当期損益金(A+B+C)	△371,849,026
(E) 前期繰越損益金	807,755,913
(F) 解約差損益金	△227,086,814
(G) 追加信託差損益金	259,912,944
(H) 合計(D+E+F+G)	468,733,017
次期繰越損益金(H)	468,733,017

※有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2025年3月10日）

	銘柄名	組入比率
1	181 20年国債	3.2%
2	368 10年国債	3.0%
3	161 20年国債	2.9%
4	155 20年国債	2.5%
5	373 10年国債	2.4%
6	167 20年国債	2.1%
7	376 10年国債	2.1%
8	371 10年国債	1.9%
9	372 10年国債	1.8%
10	173 20年国債	1.6%
全銘柄数		40銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

# イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	ヘッジ付き外国債券パッシブ・マザーファンド
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ換算ベース）をベンチマークとし、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。</li> <li>■ ベンチマーク採用国の国債を主要投資対象とします。</li> <li>■ 保有する外貨建資産については、対円での為替のフルヘッジを原則とします。</li> </ul>
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.1%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

## ■ 1万口当たりの費用明細

(2023年8月26日から2024年8月26日まで)

項目	金額
その他費用 (保管費用)	9円 (9)
(その他)	(0)
合計	9

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## ■ 組入上位銘柄（基準日：2024年8月26日）

	銘柄名	組入比率
1	US TREASURY N/B 0.75 05/31/26	0.8%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.67 05/25/33	0.6%
3	CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27	0.6%
4	US TREASURY N/B 4.625 05/15/54	0.6%
5	US TREASURY N/B 4.25 02/15/54	0.5%
6	US TREASURY N/B 4 02/15/34	0.5%
7	US TREASURY N/B 4.625 04/30/31	0.5%
8	US TREASURY N/B 4.5 04/15/27	0.5%
9	US TREASURY N/B 4 01/15/27	0.5%
10	CHINA GOVERNMENT BOND 2.37 01/15/29	0.5%
全銘柄数		764銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

## ■ 損益の状況

(自2023年8月26日 至2024年8月26日)

項目	当期
(A) 配当等収益	583,955,500円
受取利息	583,983,890
その他収益金	648
支払利息	△ 29,038
(B) 有価証券売買損益	△ 112,206,093
売買益	5,443,195,085
売買損	△5,555,401,178
(C) その他費用等	△ 17,026,744
(D) 当期損益金(A+B+C)	454,722,663
(E) 前期繰越損益金	3,417,712,385
(F) 解約差損益金	△1,396,920,577
(G) 追加信託差損益金	4,100,857,145
(H) 合計(D+E+F+G)	6,576,371,616
次期繰越損益金(H)	6,576,371,616

※有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	国内株式インデックス・マザーファンド（B号）
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	■主としてTOPIX（東証株価指数）に採用されている銘柄の株式に投資を行い、TOPIX（東証株価指数、配当込み）の動きに連動する投資成果を目指します。
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.08%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

### ■ 1万口当たりの費用明細

(2023年12月1日から2024年12月2日まで)

項目	金額
売買委託手数料	1円
(株式)	(0)
(新株予約権証券)	(0)
(先物・オプション)	(1)
<b>その他費用</b>	<b>0</b>
(その他)	(0)
<b>合計</b>	<b>1</b>

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2024年12月2日）

銘柄名	業種	組入比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.5%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.0%
3 ソニーグループ	電気機器	2.7%
4 日立製作所	電気機器	2.6%
5 リクルートホールディングス	サービス業	2.1%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.0%
7 キーエンス	電気機器	1.6%
8 任天堂	その他製品	1.4%
9 東京海上ホールディングス	保険業	1.4%
10 伊藤忠商事	卸売業	1.3%
<b>全銘柄数</b>		<b>1,710銘柄</b>

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※別途、国内株価指数先物を2.1%買建てしています。

### ■ 損益の状況

(自2023年12月1日 至2024年12月2日)

項目	当期
(A) 配当等収益	7,770,358,895円
受取配当金	7,743,924,920
受取利息	4,765,558
その他収益金	21,882,805
支払利息	△ 214,388
(B) 有価証券売買損益	40,535,848,996
売買益	55,280,108,623
売買損	△ 14,744,259,627
(C) 先物取引等損益	923,379,300
取引益	1,403,632,500
取引損	△ 480,253,200
(D) その他費用等	△ 1,311,402
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	49,228,275,789
(F) 前期繰越損益金	215,026,856,677
(G) 解約差損益金	△ 28,555,541,526
(H) 追加信託差損益金	46,742,075,505
(I) 合計(E+F+G+H)	282,441,666,445
次期繰越損益金(I)	282,441,666,445

※有価証券売買損益および先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	外国株式インデックス・マザーファンド
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	■主として世界各国の株式に投資し、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.15%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

## ■ 1万口当たりの費用明細

(2023年12月1日から2024年12月2日まで)

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	5円 (4)
(先物・オプション)	(1)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税 (株式)	6 (6)
(投資信託証券)	(0)
その他費用 (保管費用)	30 (27)
(その他)	(3)
合計	41

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## ■ 組入上位銘柄（基準日：2024年12月2日）

	銘柄名	業種	組入率
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.2%
2	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	4.9%
3	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	4.4%
4	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売	2.9%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	1.8%
6	TESLA INC	自動車・自動車部品	1.4%
7	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	1.4%
8	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1.2%
9	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	1.0%
10	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	1.0%
全銘柄数		1,208銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※別途、外国株価指数先物を1.7%買建てしています。

## ■ 損益の状況

(自2023年12月1日 至2024年12月2日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取配当金 受取利息 その他収益 支払利息	12,709,135,843円 12,437,887,886 118,772,368 152,570,587 △ 94,998
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損益	189,944,052,750 208,848,327,697 △ 18,904,274,947
(C) 先物取引等損益 取引益 取引損	2,355,351,298 3,410,187,694 △ 1,054,836,396
(D) その他費用等	△ 264,830,677
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	204,743,709,214
(F) 前期繰越損益金	526,328,534,446
(G) 解約差損益金	△ 57,848,765,519
(H) 追加信託差損益金	162,857,133,024
(I) 合計(E+F+G+H)	836,080,611,165
次期繰越損益金(I)	836,080,611,165

※有価証券売買損益および先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	エマージング株式インデックス・マザーファンド
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	■新興国の株式、新興国の株式指数を対象とした先物取引および上場投資信託証券に投資し、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.15%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

## ■ 1万口当たりの費用明細

(2023年12月1日から2024年12月2日まで)

項目	金額
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託証券)	18円 (14) (2) (1)
有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	4 (4) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	20 (17) (3)
合計	41

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## ■ 組入上位銘柄 (基準日：2024年12月2日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	9.3%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	4.1%
3	CHINAAMC ETF SERIES - CH-CNY	金融サービス	3.9%
4	ISHRS MSCI SAUDI ARABIA ETF	—	3.8%
5	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.3%
6	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	一般消費財・サービス流通・小売	2.2%
7	HDFC BANK LIMITED	銀行	1.5%
8	MEITUAN-CLASS B	消費者サービス	1.3%
9	ISHARES MSCI UAE ETF	—	1.2%
10	RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	1.1%
全銘柄数		768銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※別途、外国株価指数先物を7.5%買建てしています。

## ■ 損益の状況

(自2023年12月1日 至2024年12月2日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取配当 受取利息 その他収益 支払利息	1,099,417,127円 1,016,784,891 40,146,569 42,495,889 △ 10,222
(B) 有価証券売買損益 売買損益 売買損益	4,441,546,401 8,449,596,095 △ 4,008,049,694
(C) 先物取引等損益 取引損益 取引損益	136,433,394 333,743,609 △ 197,310,215
(D) その他の費用 (E) 当期損益金(A+B+C+D) (F) 前期繰越損益金 (G) 解約差損益金 (H) 追加信託差損益金 (I) 合計(E+F+G+H) (J) 次期繰越損益金(I)	△ 44,571,270 5,632,825,652 16,900,580,790 △ 2,564,938,725 7,722,391,883 27,690,859,600 27,690,859,600

※有価証券売買損益および先物取引等損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	Jリート・インデックス・マザーファンド
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	■東証REIT指数（配当込み）をベンチマークとし、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。 ■日本の取引所に上場（上場予定を含みます。）している不動産投資信託（REIT）を主要投資対象とします。
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.15%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

### ■ 1万口当たりの費用明細

（2024年8月27日から2025年2月25日まで）

項目	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	3円 (0)
(投資信託証券)	(3)
合計	3

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2025年2月25日）

	銘柄名	組入比率
1	日本ビルファンド投資法人	7.2%
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	5.7%
3	日本都市ファンド投資法人	4.9%
4	野村不動産マスターファンド投資法人	4.6%
5	KDX不動産投資法人	4.2%
6	GLP投資法人	4.2%
7	日本プロロジスリート投資法人	4.0%
8	大和ハウスリート投資法人	3.7%
9	インヴィンシブル投資法人	3.6%
10	オリックス不動産投資法人	3.5%
全銘柄数（新投資口発行銘柄を含む）		57銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※別途、REIT指数先物を0.2%買建てしています。

### ■ 損益の状況

（自2024年8月27日 至2025年2月25日）

項目	当期
(A) 配当等収益 受取配当金 受取利息 その他収益金	422,228,431円 421,346,401 134,101 747,929
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	△ 663,918,904 230,718,376 △ 894,637,280
(C) 先物取引等損益 取引益 取引損	△ 1,045,600 1,285,600 △ 2,331,200
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 242,736,073
(E) 前期繰越損益金	9,649,065,662
(F) 解約差損益金	△ 399,179,168
(G) 追加信託差損益金	3,009,723,745
(H) 合計(D+E+F+G)	12,016,874,166
次期繰越損益金(H)	12,016,874,166

※有価証券売買損益および先物取引等損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	外国リート・インデックス・マザーファンド
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	<p>■ S &amp; P 先進国 R E I T 指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。</p> <p>■ 日本を除く世界各国の不動産投資信託（R E I T）などを主要投資対象とします。</p> <p>■ 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.15%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

### ■ 1万口当たりの費用明細

(2024年8月27日から2025年2月25日まで)

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	4円 ( 4)
有価証券取引税 (投資信託証券)	2 ( 2)
その他費用 (保管費用) (その他)	12 ( 6) ( 5)
合計	17

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2025年2月25日）

	銘柄名	組入比率
1	PROLOGIS INC	7.5%
2	WELLTOWER INC	6.0%
3	EQUINIX INC	5.9%
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	3.8%
5	REALTY INCOME CORP	3.4%
6	DIGITAL REALTY TRUST INC	3.3%
7	PUBLIC STORAGE	3.2%
8	GOODMAN GROUP	2.7%
9	EXTRA SPACE STORAGE INC	2.3%
10	VICI PROPERTIES INC	2.3%
全銘柄数		287銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 損益の状況

(自2024年8月27日 至2025年2月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	767,354,035円
受取配当金	762,397,878
受取利息	4,407,023
その他収益金	549,134
(B) 有価証券売買損益	141,785,632
売買益	2,916,818,752
売買損	△ 2,775,033,120
(C) その他費用等	△ 13,937,724
(D) 当期損益金(A+B+C)	895,201,943
(E) 前期繰越損益金	28,774,343,093
(F) 解約差損益金	△ 1,053,264,502
(G) 追加信託差損益金	4,251,096,330
(H) 合計(D+E+F+G)	32,867,376,864
次期繰越損益金(H)	32,867,376,864

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	外国債券パッシブ・マザーファンド
形態	国内籍親投資信託
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）をベンチマークとし、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。</li> <li>■ ベンチマーク採用国の国債を主要投資対象とします。</li> <li>■ 保有する外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
信託財産留保額	追加設定時、一部解約時にそれぞれ0.1%
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社

### ■ 1万口当たりの費用明細

(2023年12月19日から2024年12月17日まで)

項目	金額
その他費用	9円
(保管費用)	(9)
(その他)	(0)
合計	9

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 組入上位銘柄（基準日：2024年12月17日）

	銘柄名	組入比率
1	US TREASURY N/B 1.625 05/15/26	0.9%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.39 11/15/26	0.8%
3	CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27	0.7%
4	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	0.6%
5	US TREASURY N/B 2.25 03/31/26	0.6%
6	CHINA GOVERNMENT BOND 2.69 08/12/26	0.5%
7	US TREASURY N/B 3.875 08/15/34	0.5%
8	CHINA GOVERNMENT BOND 2.11 08/25/34	0.5%
9	US TREASURY N/B 4.25 12/31/25	0.5%
10	US TREASURY N/B 1.625 08/15/29	0.4%
全銘柄数		812銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 損益の状況

(自2023年12月19日 至2024年12月17日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4,916,002,979円
受取利息	4,916,058,993
その他収益金	690
支払利息	△ 56,704
(B) 有価証券売買損益	11,380,546,985
売買益	14,650,750,319
売買損	△ 3,270,203,334
(C) その他費用等	△ 70,539,251
(D) 当期損益金(A+B+C)	16,226,010,713
(E) 前期繰越損益金	90,389,668,498
(F) 解約差損益金	△ 14,283,220,716
(G) 追加信託差損益金	21,420,147,621
(H) 合計(D+E+F+G)	113,752,606,116
次期繰越損益金(H)	113,752,606,116

※有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## イオン・バランス戦略ファンド【愛称：みらいパレット】

ファンド名	i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指します。
ベンチマーク	J.P. モルガン E M B I グローバル・コア・インデックス
管理費用	年0.39%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### 組入上位銘柄（基準日：2024年9月30日）

	銘柄名	比率
1	ARGENTINA REPUBLIC OF GOVERNMENT	0.7%
2	ARGENTINA REPUBLIC OF GOVERNMENT	0.7%
3	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS	0.6%
4	ECUADOR REPUBLIC OF (GOVERNMENT) RegS	0.6%
5	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	0.6%
6	BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.5%
7	QATAR (STATE OF) RegS	0.5%
8	POLAND (REPUBLIC OF)	0.5%
9	QATAR (STATE OF) RegS	0.5%
10	ARGENTINA REPUBLIC OF GOVERNMENT	0.4%
全銘柄数		634銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### 費用明細（2023年11月1日から2024年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.39%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。